

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/07/17

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.43	-0.14
JPY/THB	0.2193	0.0005
USD/JPY	147.88	-1.00
EUR/THB	37.76	-0.01
EUR/USD	1.1641	0.0040
USD/CNH	7.180	-0.005
SGD/THB	25.30	-0.02
AUD/THB	21.17	-0.04
USD/INR	85.94	0.13
USD Index	98.39	-0.22

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.392	-0.009
10Y (THB)	1.531	-0.002
5Y (USD)	3.992	-0.049
10Y (USD)	4.455	-0.026

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,359.1	22.4
WTI (Oil)	66.38	-0.14
Copper	9,635.0	-10.5

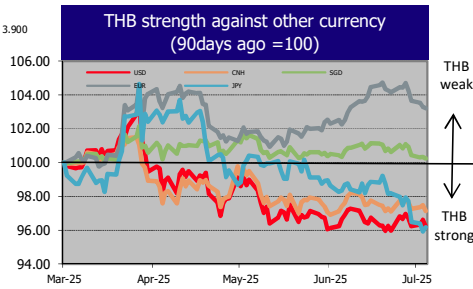
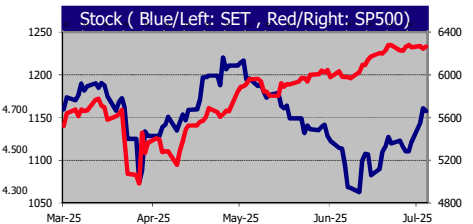
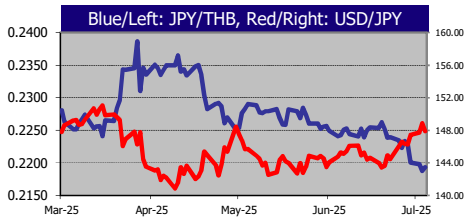
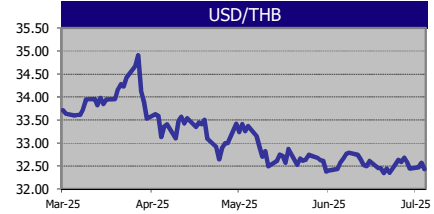
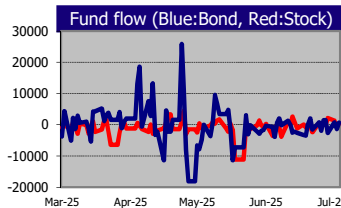
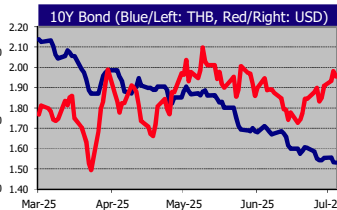
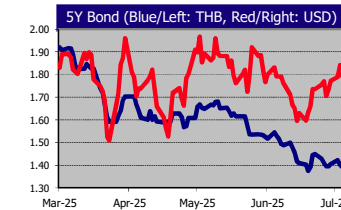
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,157.63	-3.38
NIKKEI (JP)	39,663.40	-14.62
DOW (US)	44,254.78	231.49
S&P500 (US)	6,263.70	19.94
SHCOMP (CN)	3,503.78	-1.22
DAX(GER)	24,009.38	-50.91

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	476	1068.5
Bond net flow	680	2043.5

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパート

昨日アジア時間のドルパートは32.50パート台で取引を開始。株式市場が堅調に推移する中でドルパートは小幅下落し32.40パート台を付けた。米通商代表部と関税交渉を行うとの報道もあり交渉妥結への期待感も後押しとなった。海外時間、米6月PPIの結果が市場予想を下回る結果となったが、ドルの押し目買い圧力は強く反応は一時的、一巡後は上昇に転じ32.60パート台を付けた。その後、「トランプ米大統領が近くパウエルFRB議長を解任する可能性」と報道されたことを受け、ドルが反落。ドルパートは32.30パート台まで急落したが、その後トランプ氏から同報道の内容を否定するコメントが出され32.40パート台まで値を戻した。

●ドル円その他

昨日のドル円は148円台後半でオープン。週末に参院選を控え、ドル円は148円台後半でもみ合う展開が続いた。日経平均が上昇に転じた局面では一時149円台前半を付けたが、引けにかけては失速し148円台後半で海外時間へ。NY時間に発表された米6月PPIへの反応も一時的なものと、148円台後半で推移していたが、上述のパウエルFRB議長解任に関する報道を受け、一時147円割れまで急落。その後、トランプ米大統領が同報道を否定、148円台半ば付近まで買い戻されたが、「共和党と解任に関する協議」があったということは認めた頃もあり再度147円台まで下落してクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

今週は米国で注目度の高い経済指標の発表が続いており、昨日までに消費者物価指数(CPI)、生産者物価指数(PPI)の結果が出ているが、本日は米6月小売売上高、そして明日はミシガン大学消費者信頼感指数と、相場を動かしそうな材料はまだ続く。昨日のPPIはヘッドライン、コアともに前月比横這いとなったものの、中身としてはサービス価格の低下が財価格上昇を相殺した結果の横這いだったため、CPIに続きPPIでも関税に起因したインフレが確認された形にはなった。今日明日の指標が足元のドル買戻しの流れに反転の機会を与えるかに注目したい。また、パートを見るうえでは米国だけでなく中国の経済状況も頭に入れておく必要がある。今週中国では14日に第2四半期実質GDP成長率が発表されており、結果は前年比+5.2%と、前期(+5.4%)からは鈍化したものの、引き続き政府目標(+5%前後)を上回っていることが確認された。ただし、こちらの中身をよく見ると、内需は政策支援の効果によるものだったり、外需は元安による下支え効果もあったりと、持続性に不安の残る内容もあった。中国の景気に厳しい見方が強まれば、人民元と関連のあるパートにも影響は出てくるだろう。当初想定よりも弱くならない米国経済、当初期待以上に強くない中国経済、双方の実態が浮き彫りになるにつれ、パートに下押し圧力がかかる展開もシナリオの一つとして意識しておきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.